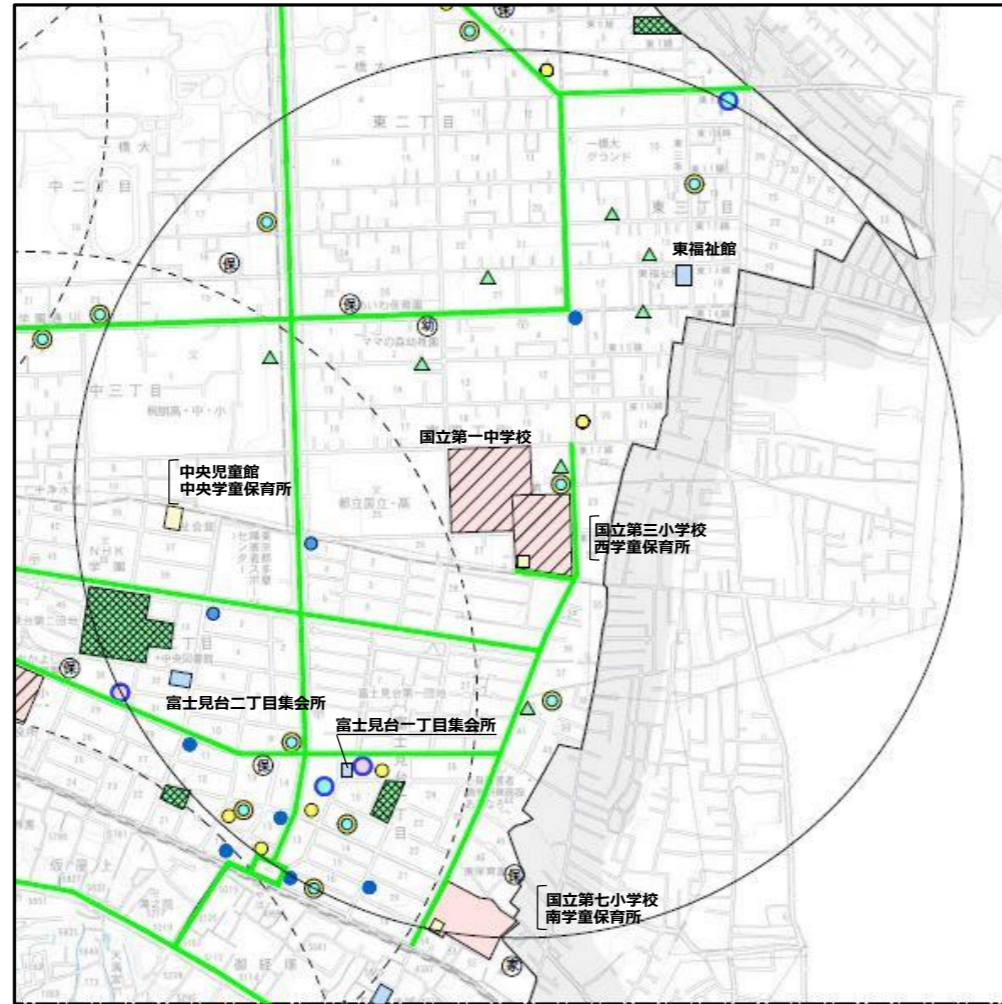
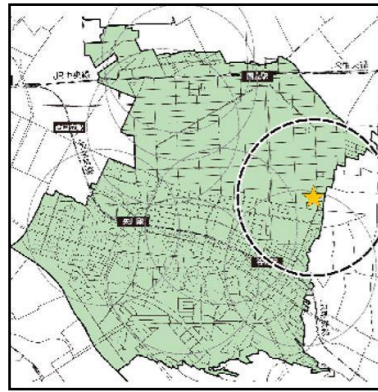


東 IDU



圏域のポイント

- ・他圏域と比較して周辺に公共施設が少ない圏域です。
- ・圏域の4割以上が第七小学校と重なっています。
- ・圏域内の市立小中学校の建て替えが比較的近接しています。
- ・第一中学校と第三小学校が隣接しています。
- ・第一中学校の建て替えは2030年以降になる見込みです。
- ・圏域の中心付近の公共施設が少なく、南側に IDU の必要機能が比較的多くあります。
- ・一橋大学、国立高校、桐朋学園などの教育機関が多く立地しています。
- ・住宅地であり、人口が比較的多い圏域です。
- ・圏域の大きな部分を占める東地域の人口の増加率は他の市内地域と比較して大きいです。
- ・谷保駅周辺やあさひ通り周辺は近隣商業地域ですが、圏域の大部分は第一種住居専用地域です。

圏域における施設の在り方

- ・第七小学校は災害時の避難所など、これまでどおりの機能維持に努めます。
- ・第一中学校の建て替えの際は、第三小学校が場所的にも改築時期的にも隣接していることから、例えば、体育館とプールや特別教室などを共有できるようにするなど、効果的・機能的配置を検討することが有用と思われます。
- ・IDU の必要機能を担う民間施設を中心部へ誘導することは用途地域上からも困難さがありますが、学校を地域の核とすることで、それを補う視点が有用と思われます。
- ・圏域内人口の増加率も高く、今後の施設需要への衰えも予期しづらいことから、第三小学校の建て替え時に複合的に整備し、核となる施設とすることで、施設需要を満たすことが重要と思われます。
- ・子どもたちの居場所機能が第三小学校にもできた際は、機能や対象者の重複を避けるため、中央児童館の施設や運営のあり方を検討し新たなサービスを付加することが重要です。
- ・学校施設への複合化によって機能移転をした場合、対象となった施設は他機能への転換を検討し、活用方策がない場合は売却などを行い、今後の公共施設整備へ活かします。
- ・学校統廃合は保全計画による改築や大規模改修の時期と合わせて考える必要があります。
- ・圏域南部や北部の地域は IDU を担う民間施設を誘導・維持し、国立駅前や市内南東部の IDU 範囲外の機能補完を行っていくことが求められます。

■エリア内施設

＜公共施設＞

| 名称 | 床面積 | 築年 | 大規模改修 | 中規模改修 | 建替年※ |
|-------------------|---------|------|-------|-------|------|
| コミュニティ関連施設 | | | | | |
| 富士見台一丁目集会所 | 92.9 | 2003 | 2043 | 2023 | - |
| 富士見台二丁目集会所 | 190.3 | 1996 | 2037 | - | 2057 |
| 東福祉館 | 348.6 | 1979 | - | 2039 | 2059 |
| 学校施設 | | | | | |
| 国立第七小学校 | 5,924.0 | 1971 | - | 2052 | 2032 |
| 国立第一中学校 | 7,512.0 | 1962 | 2062 | 2042 | 2022 |
| 子ども・子育て施設 | | | | | |
| 東保育園 | 685.8 | 1997 | - | 2038 | 2058 |
| 中央児童館 | 324.9 | 1991 | 2031 | 2051 | - |
| 中央学童保育所 | 224.1 | 1991 | 2031 | 2051 | - |
| 東学童保育所 | 240.8 | 2009 | - | 2030 | 2050 |
| 南学童保育所 | 199.8 | 2001 | - | 2022 | 2042 |

※建替年は、保全計画に基づく予定年を示しています

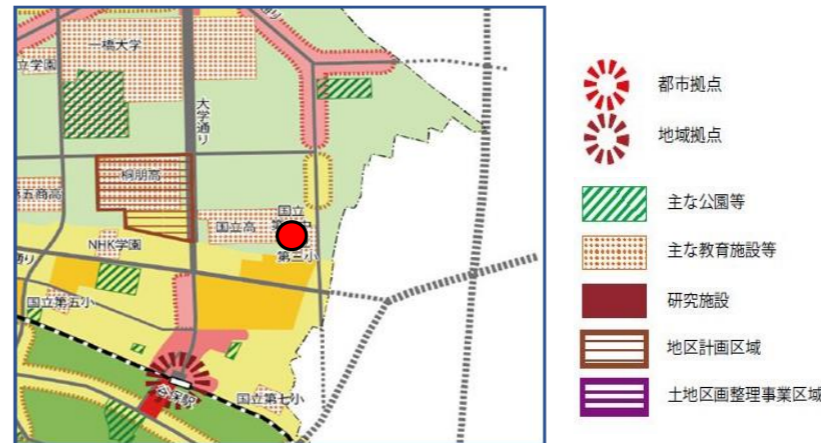
＜市立学校施設・民間施設等凡例＞

| | 施設機能 | 所在数 |
|---|-----------------|-----|
| | 市立学校（エリア中心施設） | 2 |
| | 市立学校（上記以外） | 1 |
| | 児童館・学童保育所 | 3 |
| | 集会施設（地域防災センター含） | 3 |
| 保 | 認可保育園 | 4 |
| | 幼稚園 | 1 |
| | 家庭の保育 | - |
| 公 | 都市公園 | 2 |
| | 遊園・ちびっこ広場 | 8 |
| 商 | スーパーマーケット | 1 |
| | コンビニエンスストア | 6 |
| 医 | 内科・小児科 | 6 |
| | 調剤薬局 | 6 |
| | 歩道 | |

■エリア内人口

| | 15歳未満 | 15-64歳 | 65歳以上 | 合計 | 15歳未満人口割合 | 15-64歳人口割合 | 65歳以上人口割合 |
|---------|-------|--------|-------|--------|-----------|------------|-----------|
| 国立第三小学校 | 1,657 | 9,691 | 3,536 | 14,884 | 11.1% | 65.1% | 23.8% |
| 平均 | 1,849 | 10,441 | 3,487 | 15,777 | 11.8% | 66.0% | 22.2% |

図1：「地域特性にあわせた土地利用」の方針



- 落ち着きのある低層住宅ゾーン
- 緑豊かな低層住宅ゾーン
- 街並みに調和した中層住宅ゾーン
- 沿道の中層住宅ゾーン
- 環境に配慮した魅力ある団地ゾーン
- 魅力ある商業ゾーン
- 沿道の商業ゾーン
- 景観に配慮した住宅・商業複合ゾーン
- 環境に配慮した住工共存ゾーン
- 環境に配慮した業務ゾーン

図2：道路体系の整備方針図



- 都市計画道路の整備状況
- 整備済
- 概成
- 事業中
- 未整備
- 都市計画道路の整備方針
- 優先整備路線
- 見直し候補路線

上記図1・2：『国立市都市計画マスタープラン』第2次改訂版（平成30年6月）より引用